

平成28年度第4回江南市地域公共交通会議 会議録

- 日 時 平成28年12月26日(月) 午後2時～午後2時55分
- 場 所 市役所 3階 第2委員会室
- 委 員 出席委員14名(磯部 友彦、平野 富一、桑原 良隆(代理:主事塚崎 有里)、近藤 博之、森 一浩、河村 富貴、古橋 靖弘(代理:運輸企画専門官 奥村 沙織)、向原 宏、山田 敏也、村瀬 徳行、倉橋 義一、原 朋子、佐藤 和弥、武田 篤司)
欠席委員4名(古田 寛、坪内 三、長屋 涼、脇田 和美)
オブザーバー2名(水野 泰(代理 中寫 英昭)、鶴飼 嗣孝)
- 傍聴者数 8人
- 資料1-1:基礎調査結果報告書(案)について
資料1-2:利用者アンケート クロス集計結果(抜粋)
資料 2:大口町コミュニティバスルート変更及び「尾崎町」バス停の移設について
参考資料:第6次江南市総合計画に係る市民意向調査報告書

午後2時00分 開会

○会長あいさつ

会 長 みなさま年末のお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。
交通問題について着目しますと、JRがリニア新幹線の工事を開始しました。時間のかかる駅部分と山間部を先行して進めています。完成すると東京まですぐに行けるようになります。江南市も名古屋駅から近い場所ですので、東京までさっと行けるようになります、効果がある場所になります。一方、地域交通の検討も大切です。見えるところに、いけないもどかしさがあります。それが問題です。人間は、自分の体を使って移動できますが、動物と異なり道具を使えるのが人間です。道具を作り生活しているのが人間です。どんな道具を使うのか。どんな生活をする、普通の生活ができるようにするためには、地域公共交通が大切になります。多様な人にそうした環境を作るために、この会議での議論が重要となります。良い議論ができますよう、よろしくお願いいたします

○協議事項

公共交通再編の今後の方向性について

会 長 協議事項より先に進めます、「公共交通再編の今後の方向性について」、事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1-1、1-2、総合計画市民意向調査報告書に基づき説明。

会 長 ありがとうございます。資料1-1について、前回から変更した部分を中心に説明がありましたが、「公共交通再編の今後の方向性について」、委員の皆様のご質疑、ご意見をお願いします。いかがでしょうか。

委 員 1回目から参加させていただいています。資料を見ると税金投入をいかに膨大になってきたか、税金投入を安くして市民の生活を守ることが大切だと意見させていただいた。資料をみても、税金投入額が大きくなり、今後大きくなると見通されると記述されています。今後は、やはり税金を少なくして市民の足を守るかに尽きると思います。少し、逆行している部分もあるように見受けられます。広報11月号の7ページに、いこまいCAR予約便Q&Aが載っており、定期便を廃止し、名鉄バスの延長に補助をしていると書いてありました。名鉄バスに補助金を入れていると、今後は税投入が増えていき財政赤字にどんどんなっていくと考えられます。いこまいCAR定期便を廃止してどれくらいの赤字になってきているのでしょうか。

会 長 税金投入についての指摘です。資料1-1の25頁に税投入について大枠が示されています。歴史的経緯について、いこまいCAR定期便をやってきたときは税金の投入も多かったと思いますが、路線バスに切り替えて運行に際して補助金を投入しています。今後の事業費の見通しが気になるし、定期便から路線バスになったときに財政の負担はどうなったかについて、疑問点があるということですね。

事務局 25頁のグラフに税金投入について示しています。全体の投入額は増えているのが事実です。ただし、路線バスについても、今後どうすべきか、評価をしながら交通会議で議論できるようにしたいと考えています。ただし、名鉄バスについては、市が負担していない路線もありますし、将来の人口も変化していき、まちの形も変わっていきますので交通会議の中で検討しながら、できるだけ維持していけたらと考えています。

会 長 最近の補助投入額は、頭打ちの状況にあります。今後は、どんな見通しなのか。増えていくのか、横ばいになるのか、どんな見通しを立てているか、そのあたりのお考えはあるのでしょうか。

事務局 江南団地線について、団地との間の運行本数10本を5本にして減便しました。その影響で今年度の補助額は全体的に減る見通しです。それだけではなく市全体の公共交通を考えないといけないため、これから先どうなるかについては、状況を都度報告して、みなさんにお諮りしながら、検討したいと考えています。

委 員 資料の中にも税金投入額は増大する見通しとの整理がされている。税金投入がどれだけ増大していくのか、目に見えないんです。赤字路線は、思い切って何か別のものに変えた方が良くと思います。他の地域では、有料ボランティアなどが小さなバスを運行するなどの事例もある。赤字路線をいかに縮小して、市民の足を守る形を検討していくべきです。交通空白はないというが、一部には空白はあると思います。だから税金投入しないといけないというところがあり、税金投入すれば赤字が拡大することになる。我々市民としては、江南市の財政投入を減らして生活の足をどのように守るのが、一番検討しなければいけないことだと思う。

会 長 資料では、検討体制をつくることとしていますが、その中で、財政的な問題も交えて議論するのでしょうか。いろいろな人の要望を聞いて交通を作るということも大事ですが、全体の例えば財政のバランスなども考えてそれを見直していくということも検討に入ってくるのか、何か考えていますか。

事務局 新設する検討部会で議論する対象になると思っています。また、評価には財政に関する部分もお示していかなければならないと考えています。

委 員 赤字路線は、一日でもはやく健全な運行に務めていただければならないと思います。厚生病院の空バスのまま運行している便があり、腹立たしく思います。そうした路線はすぐにでも縮小していくべきだと思います。路線バスの便数を増やして運行してほしいというアンケート調査での意見がありましたが、お金を考えるとそんな対応はできません。市民のアンケートも重要ですが、現状の路線がこれだけ赤字が出ているという内容を加えると、市民の意見は多少変わってくると思います。

会 長 今のご意見は、ぜひ検討の中に加えて、いろいろと検討していきましょう。

会 長 この内容については協議事項で承認いただく必要があります。特に、資料の最後に方向性をまとめています。71頁以降の8章部分です。

74頁に検討部会を設
置することが示され、75～77頁では検討することが示されています。これらの報告書について認めてもらうのが本日の協議事項です。この記述について

ご意見ありますでしょうか。

委員 検討部会を設置する中で、74頁の体制についてみますと、道路管理者や警察などが入っていません。どちらかと言うとサービスの観点から市民を中心としたサービスの向上について議論することと読みました。市民の要望をまとめるという場であればよろしいのですが、できれば交通会議に諮る前には、警察、道路管理者に事前に相談するよういただければと思います。

会長 道路管理者、警察が関係する部分があります。検討した後で「できない」というのでは困りますので、検討部会では、何をどこまで決められるのか確認して、交通会議のメンバー以外の病院や商業施設の関係者まで関係していくため、良い情報交換の場を作っていただければと思います。

事務局 次回3月までに時間がありますので、検討体制について次回の会議までに検討して報告します。

委員 評価機関を新たに設定するとありますが、評価指標の案は次回会議でお示しされる予定でしょうか。

会長 評価指標について、何をどこまで達成するのか、路線ごとの良し悪しについて利用者で見るのか、税金投入でみるのか、いろんな考え方があります。妥当な交通サービスとなっているのか、無駄なことをやっていないかなどの見極めをするため、評価指標をつくって、比較しながら検討することになります。

他のまちで行っているので、まちが置かれている状況を考えながら参考にしながら進めることになります。どこまでなら税金投入は良いのか、その点について、お考えがあるでしょうか。

事務局 利用者数、税金投入額など、評価方法について、検討部会などを通して、来年1年間考えたいと思いますので、次回までにお示しすることは困難だと考えています。

会長 今回は、基礎調査の段階での報告書です。このまちがどうなっていて、今後何を検討すべきかを整理したものです。どうすればこのまちがよくなるのか、その方向性については示していません。その方向性の議論を進めるためにも、評価する指標もいるだろうということ。先は長いのですが、現状が見えてきました。

基礎調査段階なので、物足りないと思うかもしれませんが、課題をしっかりと確認することとして、次回以降の検討組織で検討していく。その対応でよいかを、承認いただきたいですが宜しいでしょうか。

<異議なし>

会長 ありがとうございます。異議なしとご発言頂きましたので、このままうまく最終成果をまとめてください。

○大口町コミュニティバスルート変更及び「尾崎町」バス停の移設について(資料2)

会長 「大口町コミュニティバスルート変更及び「尾崎町」バス停の移設について」、報告を受けたいと思いますので、事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1-2に基づき説明。

会 長 ありがとうございます。
大口町のバスが江南市内を通過しています。江南市内分の道路、ルートと停留所位置の変更をここで確認して、大口町にて再度議論する形をとりま
す。いかがでしょうか。

委 員 今回ルートが変わることなので、新しく走る道路管理者との調整は
できているでしょうか。
それに伴い、運賃の変更はしますか。
ダイヤ改正は検討しているか、運行本数の変更はありますでしょうか、以
上お尋ねします。

事務局 道路は市道なので、確認済みです。
運賃の変更、運行本数は変わらないと聞いています。江南市から報告でき
るのは以上です。

オブザーバー 運賃の変更は、1回100円から変更しません。
ダイヤの改正は、現在、運行事業者と調整中です。内容につきましては、
1月後半から2月の上旬の大口町の地域公共交通会議までに確認し、承認
いただき、転換する予定です。
本数は変わりません。

会 長 ルートが変わるので、ダイヤは多少変わるかもしれませんが、本数は変わら
ないということです。

会 長 内容について、よろしいでしょうか。
こちらが協議事項ですので、確認が必要です。異議はないでしょうか。

<異議なし>

会 長 ありがとうございます。異議なしとして承認いただいたものとします。
以上で協議事項は終了しました。

○その他

会 長 事務局から、連絡事項等がありますか。

事務局 本日の会議におきまして、「公共交通再編の今後の方向性について」ご承
認をいただきましたので、今後の方向性についてお示ししましたとおり進
めさせていただきます。また、報告書の最終版を次回の会議時にご提出す
る予定でありますのでよろしくお願いいたします。
このほか、「大口町コミュニティバスルート変更及び「尾崎町」バス停の
移設」につきましては、後日、大口町が運輸支局に申請する際の添付資料
として、会長名で協議が整ったことの証明を提出しますのでよろしくお願い
いたします。

○名鉄バス江南団地線の運行系統の変更について

事務局 その他の連絡事項としまして、「名鉄バス江南団地線の運行系統の変更に
ついて」を名鉄バス株式会社様より説明していただきます。お願いします。

委 員 江南団地線のダイヤの変更について、江南駅から江南団地までのルートは、
古知野高校経由と商業施設のヴィアモール経由があります。
ヴィアモールが完成し、ルートを新設した時から、運行の比率について古
知野高校経由を多く設定していましたが、ここに来てヴィアモール経由を

利用する方が多く、古知野高校経由系統を利用する方が非常に少なくなりました。

そのため、現状は、古知野高校経由系統の本数の多い7時の最初と8時の中盤の時間帯をヴィアモール経由系統に振り替えて、江南駅発は8時の最初の便をヴィアモール経由に振り替えたいと考えています。これによる影響は非常に少ないことも調査を行っており確認しています。

この変更に伴って、厚生病院に行く系統の朝早くしてほしいとの要望がありましたので、併せて変更をしたいと考えます。

よろしく願いいたします。

会 長 この内容は、路線バス事業者の事業なので、路線バス事業者が国に承認を求めるものです。ここでは協議事項ではなく報告として扱いますのでご了承ください。

事務局 今後の会議日程について説明

会 長 ほかに意見等も無いようですので、これをもちまして、本日の江南市地域公共交通会議を閉会させていただきます。慎重なご審議を賜り、誠にありがとうございました。